

**言葉のゆらぎ・カタカナことば**  
言葉関連でしばしば話題になるのが、カタカナ言葉。

ショッピングモールに新型コロナウイルス対策の、下写真の掲示が張りだされた。

**新型コロナウイルス  
感染予防に関する取**

1. 最前線の清掃・消毒活動
2. スタッフの手洗い・うがい・体温
3. スタッフのマスク着用
4. アルコール消毒液の店内設置
5. ビニールシートなどによる飛沫
6. ほかPOPなどによる

「ビビット南船橋」北入口の掲示  
2020/9/29

カタカナ言葉がいくつも出ている。下の方に、カタカナではなくローマ字だが「POP」とある。多分「ポップ」(pop)広告：ポスター、ステッカー)のことだろうが、説明はない。このポスターの製作者も掲示責任者もこれでお客に十分伝わると考えたのだろう。私なら「足跡形の絵」とする。お客には私くらい若い年代の人が多いように見受けられるが、説明無用・原綴りで使える言葉らしい。

若い頃、プールサイドを美女が歩くコマーションがテレビで流れた。友は美女に会いに行こう、糸、行こう、決めた！と私を誘った。美女ごときに興味はなかったが、ひまだったのでついていった。ところがプールサイドに美女はいなかった。心は怒りに震えた、なんでクレームが出ないように、CMフィルムや写真には「イメージす」と注釈が添えてある。

作文の時に私は、カタカナ言葉を漢字言葉にかえる試みをしてきた。この「イメ

ジ」はどうだろうか。

広辞苑には「イメージ image」の項に「心象、印象、姿、形象、映像」という熟語が並べてある。

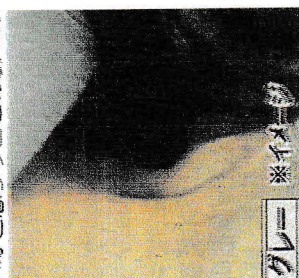
では下の写真の場合はどうか。どれちもうちびつたりでない。

そもそも欧米の文化・文明から生まれた image を、日本の風土・生活の中から生まれた心象、印象といった言葉に置き換えることに無理があるのではなからうか。

先人は、入ってきた欧米言葉を漢字言葉に置き換えようとした。しかし今は、発音に近いカタカナに変えてそのまま使うことが多い。それは自然の成り行きなのかもしれない。だが、カタカナ言葉はチンプンカンプンだ。例えば「フィロソフィー」に初めて出会うと、なんだこりゃ、だ。訳語の漢字だと「哲の学だ」となるとなく分かったような気になる。いや、真面目に話します。

日本人の通通無碍なところをいかして、漢語、和語、外来語(カタカナ言葉)、ローマ字、英語の原綴りそのまま、縦書き横書き、さらに左から書いても右からでもOKと、なんでもありでいいのかもしれない。日本語は、そういういい加減さというかゆるさというか、豊かでたおやかで包容力のある language ではないかと思う今日この頃であります。

コロナ騒ぎでよく目にするようになったマスコミの広告のひたひたのひたひた  
読者新聞  
2020/6/27 朝



**Ala Saga 氏の toothpick**

ペット様ご入店の段

スーパーバリエーユー内のポスター

「ペットのご入店は禁止されています」製作者も校正担当者もペット大好き人間なのだろう。ペットは家族の一員というご時世なのでこういう表現になったのか。ペット愛好者グループ内では通用しているのかもしれない。広く知らせる文章としては誤用だろう。

指輪があつたのかまもなく撤去された。他の同様のポスターは「ペットを連れてのご入店は」となっている。

**交換の談**



京成船橋駅近く  
「三井建」店頭  
の立て看板  
2020/11/24

船橋駅の近くの、宝飾品や時計を扱う店先に出されていた看板で視字を見つけた。「カン」の字は明らかに間違いだろう。それとも、韓国が中国にはあねのだからか。

他人の間違いを見つけてるのは楽しい

い。そういう自分でも間違いが多いことを自覚している。

谷津にある病院の泌尿器科で鶴先生の診察を受けた。私には珍しい苗字だ。「ツル」と読む。「鶴」の上に「雨」をのせた字で、漢語林によると、

「鶴」の「異体 同字 (国字)」とある。

この「鶴」の字を間違えて覚えていた。「ウ冠」で書いていた。ある時、なにかおかしいぞと思い、「ウ冠」ではないと知った。なお、「雀(カク・ガク。つる)の場合にはウ冠だからめんどくさい。

若い頃、「片」の字がつく苗字の友人のお墓まいりについていたことある。葬式仏教と陰口されるお寺のお墓より以前の、本来の墓地のカタチなのだろう。農林業のことはほぼ全く知らないが、良い場所と感じた。だが食料を得るにはなにか難があつたので、大切な人を葬る場所に選んだということだろう。

古びた墓石をなんとなく見て回っていて、友人と同じ苗字が多く、そして「片」の字が様々に彫られていることに気づいた。故人の家族がそう書いていたのか、石工が自分の教わったように彫ったのか。

そもそも字はそのように使われてきたものではなからうか。違っていて、同じ字の、うろ覚えで書いたりして、同じ字のはずが少しづつ違う字になって使われてきた。そのうち、ヨミミミニゲーシヨンをスムニズに行うには



共通、統一しなければ、と有識者と  
かお役所とか漢字博士とかが考え、  
当用漢字や教育漢字やにまとめ  
た、と考えたがどうだろうか。

毛筆の時代には「ハネ」「トメ」など  
は大切だったのだから、今や、「ト  
メ」ようが流そうが別の字に間違われ  
ない限りどうでもよくなってきてい  
る。

書き順も同じだ。字が成立した所  
以や、形の整え易さから正しい筆順  
が勧められる。私は、泌尿器科の  
「泌」の「必」の字を「心」と書いてから  
斜線をひいていた。ところが、「必」  
の字は「心」に斜線を足したのではな  
いと知った。懸命に正しい書き順を  
覚えようとしたがなかなかカッコ良  
く書けない。同じように苦労する人  
が多いうえ、筆順の本では、推奨  
は出来ないとしながらも、心とまず  
書く手順も紹介している。筆順は、  
別の字になつてしまわなければならない  
から、書きやすい形、整え易い順番  
でいいんじゃないだろうか。

蛇足。大昔、書道塾に通った。縦  
線、横線をカッコよく書くのは難し  
い。「永字八法」の八番目はさらに難  
しい。私の苗字のシンニョウをカッ  
コよくまとめると毎度悩みます。

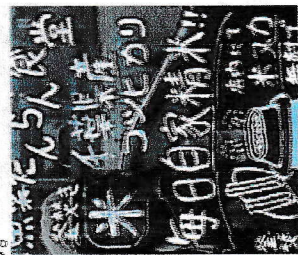
#### 千葉県特産コヅヒカリの埴

カタカナの「ツ」と「シ」を明瞭  
に区別して書けない人は結構いるの  
ではないか。右写真のポスターを書  
いた人によれば私は「ツッ」となるの  
だろう。漢字の「土」も、今は活字で  
も筆記でもシンニョウは点一つで通

る。どちらでもいいわけだが、私は  
お願いできるなら点一つがいい。

私の苗字を「述」と書かれたこと  
が何度かあった。これは別の苗字  
だ。入院した時、持薬を入れて持ち  
込んだ容器に看護師が「十」の右肩  
に点を打って「述」と記入した。こ  
ういう漢字はない。ほかの場合でも  
何度かあった。しかし、ほかの字に  
間違われることはないだろうから、  
どうでもいいか、と近頃は思うよう  
になった。(No.5 p.1 参照)

他人の間違いを見つけたのは楽し  
い。学園勤務時代、誰かの何かのお  
祝の席で、同僚が「ガクトウするな  
んやらでソウシがどうのこうの」と  
祝辞で述べた。話の内容から私には  
「ガイトウ...ソウケイ」の間違いと  
しか思えなかった。いまだに覚えて  
いる所を見ると、あんだ国語担当じ  
やなかったつけ、とさげすみ面自が  
る気持ちがあったのだろう。という  
自分では自分の間違いは分からな  
いものだ。この頃はヒトのアラ探しよ  
り、自分の間違いに少しでも気づく  
ように、できるだけ辞書で確認する  
ようにしている。



船橋線馬場駅近く  
「だんらん食堂」  
の掲示  
2020/8/22

スマホでの誹謗中傷が広がってい  
るという。祝辞の例でなら、聞いた  
その場でツイッターとかなんとかに  
チョンチョンと入力しチョンと発信  
するということだろうか。聞き間違  
いとか聞いた私の方が間違っている  
かもとか、大人気ないとか、考える  
間も置かずに簡単に発信してしま  
う。実際にそのような目にあって退  
職した市川学園の先生が居た。残念  
だ。

私の場合、チョンと押すだけで皆  
さんに連絡する方法、手段を知らな  
いので、發送するまでに何度も見直  
す時間がある。見直すたびに気分は  
変わるし、間違いにも気づく。スマ  
ホでチョンの皆さんにはこの段取り  
が抜けているのではなかろうか。

近頃私は、自戒の意味も含め、ス  
ーパーや病院で、文句・苦情といっ  
たマイナス面ではなく、うれしかっ  
た時に感謝の投書をすることを心が  
けている。

#### 垢トンボの断

テレビ番組でリポーターが「カキ  
むきしています」と「カ」を強く発  
音していた。画面には植物のカキが  
並んでいる。耳だけでは「柿」では  
なく「牡蠣」を思い浮かべた。

歌舞伎座の「コケラオトシ」で  
「柿」と書いて「コケラ」と読むこと  
を知った。柿がなぜコケラなのか。  
【「柿」の字に「木くず」の意味はな  
い。「柿（かき）は右側のつくりが一  
（なべだ）に巾、柿（こけら）は一  
に巾で、縦に棒が突き抜け、1画少な

い。】(2002/5/21, 読売新聞・日め  
くり から) だそうだった。手元の辞書  
ではわからなかった。新聞には続け  
て、こけらの意味から、屋根のない  
プールなどに「こけら落とし」と使  
うのは適切でない、とある。

童謡の「赤とんぼ」を歌う時、「ア  
カトンボ」の「ア」を強く発音する。  
私の場合、トンボを見た時には「カ  
にアクセントを置く、というよりは  
平板に近い発音をする。

「赤とんぼ」の作曲家は言葉を大切  
にした人だそうで、アにアクセン  
トを置くのが「赤」で、カにアク  
セントを置くと「垢」になつてしま  
う、と話したそうだった。なるほどと感  
心した。しかし、平板発音で育った  
故にアを強く発音すると見慣れた  
アカトンボが別物に感じてしまう。

「正しい」とされるアクセントは多  
分共通語 (以前は標準語といってい  
たと思うけど) の元になつた東京・  
山の手の人たちの会話だろうか。関  
西弁を持ち出すまでもなく日本各地  
にその土地のアクセントがある。ア  
クセントの違いをつくるのは Ala  
Saga 氏の意図するところではない。



君は「赤色」が、  
それとも  
「垢まみれ」が  
船橋・浜町 1  
2018/7/8







## レールは続くよどこまでも

新京成電鉄で津田沼から松戸行きに乗ってふと気づいた。しばらくの間、ガタンゴトンという懐かしい音がしない。

レールは鉄で出来ている。レールのように長い場合、意外なほど伸びたり縮んだりするらしい。伸びてぶつかり合いせり上がりたり、縮んで隙間が広がり過ぎたりしないように、つなぎ目には手ごろなすき間が設けられている。一方、車輪も鉄である。つなぎ目の隙間を通過する時に鉄と鉄がぶつかり合う。これが軋轢を醸し出す音と振動の元ということになる。

軋轢にひたるのはよろしいですが、車輪とレールの損傷と乗心地にはよろしくない。なので、つなぎめを減らそうとして長尺レールが作られ、あるいはつなぎめを溶接して隙間を無くすなどの工夫改善が行われた。ここまでで私の知識は途絶えた。

新幹線の素晴らしい技術をつたひたひでレールに見る。だが、レールの事に触れた番組に私は出会っていない。つなぎ目のすき間は高速安全運転には重大問題の害である。まさか東京から大阪まで1本ということは無いだろう。レールの伸び縮みをゼロにしたということも考えにくい。どこかで伸縮とガタンゴトン問題を解決する工夫がしてあるに相違ない。どんなかな？

途絶える寸前の知識では、レールのつなぎ目を溶接するのは別に、伸び縮みを逃がす方法というのを見た。コボウのさきがきのようにレールの端を削って、その面を組み合わせる。そういうような工夫を進化させた画期的な技術が生み出されているにちがいない。

話はかわるが、新幹線が営業運転を始めた

時、これは特別な乗り物で運賃も高そうだから、私ごととき庶民が乗ることはあるまいとなんとなく思っていた。ところが高校の修学旅行の付き添いでいとも簡単に乗れることになった。お察しの通り費用は学校持ちです。ありがたいことだ。

有りがたいことではあるが、乗って走り出すと旧来の電車と変わりが無い。似たような感覚を飛行機でも感じた。乗る時はワイヒコキーキだヒコキーキに乘れるぞ、とワクワクしたが、乗り込んで落ち着くと電車と違って変わらない。この辺の感動しない冷たさが並み以下の鉄道ファン、ヒコキーキファンというところだろう。とはいえ、ガラス製ではあるが冷え切ったハートではない。ボナンザという軽飛行機の副操縦席に座って旋回して島が見えたりぐんぐん地面に近づき着陸したりする体験をした時は、コレソヒコキーキと感動した。似た感覚なのだろうが、子どもの頃、電車で乗ると、前や後ろの窓から線路を眺めるのが好きだった。今も前や後ろに乗ると同じ行動をする。精神年齢は子どものままだ。



にわか乗り鉄。電車等なんざへノカッパ、でもなかつた。結構むずかしい。京成本線下り。台津駅出発、津田沼駅へ向けて加速中。2020/10/28。京成電鉄の頭・AB形特急も乗るが、この辺は昔ながらのちややのなで、カレンダーのようにキレイには写せない。マニアやプロだっただけのようによいとまとめるのだろうか。

## ヒコキーキの元祖

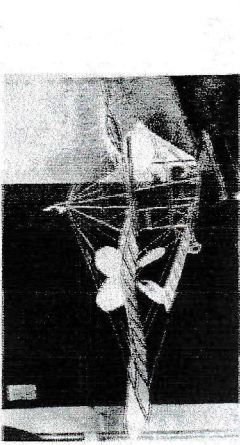
鉄道に傾いてクラシックヒコキーキ。ヒコキーキの始まりはライト兄弟ということになっていきます。ところがどここい、わが国こそ元祖、おいらが一番、という話がこの分野にもあるようです。

飛んだんじゃなくて跳ねただけだ、着陸でなくて落ちたんだ、と反論もあり、空気が重くて、動力で、姿勢や進行方向を制御した初飛行はやはりライト機、というのが現在の定説。

その頃、日本でも飛ぶことに夢を抱いた人が何人も居たという話があります。

2020年4月11日の新聞に、滋賀県長浜市市友町出身の鉄砲鍛冶・国友一貫斎が描いた鳥形飛行機の設計図が見つかつた、という記事が出ました。鳥の頭と翼そのものみたいなデザインのはばばき機です。詳しくはわからないようですが、図面だけで終ったようです。

ライト兄弟の成功に先立つ1890年(明治28年)二宮忠八がゴム動力付きの模型飛行機を作つたという記録があります。飛んだのでしょいか。1894年には足踏み式でプロペラを回す飛行機の模型を設計したそうです。「甲虫型」と名付けられています。カブトムシガタと読むのでしょうか。



二宮忠八設計の「甲虫型」人形飛行機の模型「プロペラ」リダニカ国術大資料館蔵。1908年

美機を作るまでには至らずに終つたようです。復元機型の写真を見限りでは飛んでちよさそうなる気配を感じます。ただし、足踏み式つまり人力飛行機では、現在の皆さんが苦労しているように、並大抵の努力・工夫だけでは飛べなかつたと思われまふ。足踏み動力を効率よくプロペラに伝えられるか、その力で前進し浮かすほどに軽く且つ丈夫な材料が得られたか。まずだめだつたであろう。と考える私のようなマイナス思考ではなく、とにかくやってみる、しくじつても気にしない、なぜばなるというプロセス思考の持ち主によつて大発明はなし得るということでしょうか。

ライト兄弟は、飛行の理論、エンジン、材料、構造など愈入りに研究、グライダーを作つて実験を繰り返しています。理論も実験もあつての初飛行成功の栄冠獲得でした。

## 気になる言葉・おっぺす

「おっぺして」と頼んだら妻が笑いました。おもしろいという。妻の家庭では使わない言葉だという。

私の両親は「とんで埼玉県」のど真ん中のだん百姓。埼玉県の方言かと思つたが、房総の海の民には「おっぺし」があるはず。妻の母は地元船橋、父は新潟県出身だと聞いた。

念のため辞苑を引くと、おっぺす【押う庄す】他四(オシハスの音便)おしうぶす。奴隷諸「一」して取らん相撲は請れがまし

とある。奴隷諸、つまり江戸前期の関東方言を私は受け継いでいたということとか。そう言えば、この章の末尾に付記した「奴詞」の説明の申の「むやっ



のようなので、小さい声でのよまいます。ご内々に。

### わたし頭が不自由でした

クラス違いの同級生 K は早く結婚した。お相手は私好みの美人さん、ということはおいて、女の子が生まれた。生まれついて聴覚が無かった。両親は、唇を読ませ、しゃべることが出来るようにする教育を選んだ。手話は目立ち、周りから好奇の目を向けられるからと K は言った。

母親似の目のぱっちりした女の子になり、成人し、結婚した。私の口元を見て、返事をしてくれる。私には少し聞き取りにくい。自分の声が感じ取れないので、発声は難しいことなのかもしれない。

小岩の小野内酒場で K と飲んだ時、テレビ番組の中の、豊の子は母親父親の声をどんなにか聞きたいだろう、というくだりで涙したと私は話した。K は、途中失聴の場合ならそうかもしれないが、うちの娘は生まれつき。声とか昔とかということを知らない。お前が思うほど深刻じゃないと思うよ、と言った。

かつて医者や看護士に、家族の気持ちがわからないのか、といういらをぶちまけたことがあるが、無理な話。どんなに考えても他人の痛み悩みはわからない。想像するだけだ。と K の話が

ら学んだ。

今、めくら、つんぽという言葉は使われていないようだ。

蔑みの意味合いが強いのだろうか。言われた当人はやはり気分悪い言葉なのだろうか。パラリンピックでは視覚障害、聴覚障害、知的障害、低身長などと表現している。

別の日、やはり小野内酒場で、K が笑いながら話してくれたことがある。酒の席でむすめがつんぽで、としゃべっていたら、隣りの若者から、耳の不自由な人って言うのだと論された、じや、ババは頭の不自由な人って言うのかと言っちゃった、と。



天気予報・雨がサンザン降りとなるでしょう。おどけているのではない。  
NHK Eテレ・手話ニュース・天気予報  
2021/9/2.

総武線を通っていた頃、手話でおしゃべりする小学生のグループがいた。楽しそうで「にぎやか」であった。でも手話ニュースで見ると極端に、口とんがらせ頬膨らませ口ひんまげで泣きまねしたりなどはしてなかった。感情がよく伝わるように、ということらしいが、これでは確かに好奇の目、注目の目が集まりそうだった。

## 浜町から風の便り 32

2021 (令和 3) .9.15.

船橋市浜町 辻 秀幸

### 機械人間への階段

手術入院いたしました。

両玉を人工物に取り換ええました。正確には目の玉の一部です。すでに歯1本が代替品です。体の傷んだ部分を少しずつ人工物に取り換えて、やがて全身機械になります。そして永遠の命を取得します。その時も「私」なのでしょいか。それでいいのでしょうか。なんてことが『人間機械論』には書いてあったんだっけ？

テレビで、2020 東京パラリンピックの競技の様子が流されました。

バネのような義足を付けて短距離走をする選手をみました。以前から、バネの力で速く走れるのではないかとやっかんで見えていました。競走のシューズに走りを助けるスプリングの動きを付けたら多分反則だと思えますが、義足はどうなんでしょうか。1 枚バネのような義足で踏み切って幅跳びする選手を見ました。バネを改良したらとても細かい距離を跳べそうです。義足にも細かいリールが決められているのでしょうか。

高校の時、クラスに両足不自由という W がいた。同窓会に車を運転して

皆さまお久しぶりです。改選人間関係一脱が済んだ日の夜にお目にかかります。つらやき編集長の最新映像です。某秘密改選所某編集長の最新映像。2021/9/7. 食事は最高！ おっと、最後は映像じゃあめい！



やって来る。両足不自由と言うのは見ればわかる。だが、高校生時代には3階の教室に来るの大変だろう、急にトイレに行きたくなった。ほかの級友も似たようなものだったのじゃなかろうか。私にとっ手足の有無は付き合うちに差し支えない。困ったのはそれが合わない人。最初に動めたところの先輩の一人がなぜかつかつかってきて居心地悪くなり、ハンドバッグから図書館へハンドルを切った。今皆さんとお話してできるのは彼のおかげです。

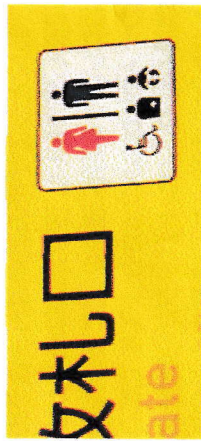
2020 東京パラリンピックの車いすラグビーの激突プレーは強烈で面白かった。その中に優しそうな女性がいるではないか。女なのにこわさくないのか。しばらく前に、カネの使い方が法定外だと指摘された男が記者会見でワウー泣いた。おまえ男だろ、女の腐ったような会見なんかややるな。などなど以前なら常識句のように目にしていた場面だ。昨今はそんなこと口走るとどえらいことになりそうな様子だ。

近ごろ気になるがよくわからないのが、ジェンダーフリー関連。



共生社会だ多様性とか男女の違いだ平等とか、太古女性は太陽だったんだとさ、虹は七色だぞ、などなどごちゃまぜでこんがらがっちゃんピストル食べたになっている。

よくわからないモノは怖い。分かったふりしてしゃべると、赤色の恥をかいたり、出るツラはぶんなぐられる、ことになりそう。ここは触らぬ神に祟りなし、君子危うきに近寄らず。私の得意な石橋叩いて渡らない安全運転処世術で無難にきりぬけよう。



男女を示すピクトグラム（トイレの絵文字）  
女性は赤でスカート姿、男性は黒でズボン（パンツと言わないでください。男用下着だと勘違ってしまふ）袋でデザインされたものが多い。苦情もあるが、私はこの方式、私にはわかりやすく、混雑していても間違えない。京成成田駅下りホーム・エレベーター 2021/9/10。

### いじめられたりいじめたり

中高生がマニシヨンから飛び降りたり、首をくくって死を選ぶことが報道されることがある。われわれ大人からは理解しにくい理由が書き残されていたり、同情して（？）友達が行動を共にするということもある。新聞記事は必ずと言っていいほど、いじめの可能性をほのめかす。そういうこともあるだろう。いじめられて追い詰められた

子に「君は悪くないんだヨ、悪いのは向う」と寄り添うのだと聞いた。そう言われれば、私の場合でも弱れずに済むだろうと納得する。

その一方で考える。被害者とされる私の方に原因の一端があるかもしれない、気がつかないうちに傷つけたかもしれない、精神的におかしな言動をしたかもしれない。

しかし、私の見たり聞いたりする範囲では、そのように指摘するのはもつてのほかでタブーらしい。報道では決して触れることはないようだ。

精神面についても報道は慎重だ。殺傷事件の容疑者の場合には、通院歴がある、とそれとなく表現するのを見ることがある。精神病の疑いがあると取り調べや裁判に影響がある。

本人の名誉のため、あるいは裁判への影響を考慮して、報道では触れないことになっているのかなと思う。

自動車事故を起こしたことがあるが、損害賠償では、片方にのみ原因、責任があることには決してしない。もう一方にも少ない場合でも何パーセントかの責任があるとする。

被害者が先にいじめを行ない、それに対して加害者側が抵抗、反撃した、その反撃の方が事件として現れた、とわかったというような報道を読んだことがある。いじめ被害を防げなかったと糾弾される側、まわりの大人たちの

立場は弱い。四面楚歌で、非はどちらにあると認めざるを得ない、なんてことではないのだろうか。迷い道くねくねにはまり込んでモヤモヤ状態。

### 左前

いわゆる女の子らしい服装をする男の子（少年、青年、成人）が居る。けっこう流行っているらしい。私はごめんだ。俺は男だ、女のカッコなんかちゃんちゃらおかしくて絶対やだ。と言ってはみたが、図書館に勤め始めたころオレンジ色の派手なシャツで出勤したことがある。なんでそういうことになったのか忘れたが、自発的だったのは確かだ。スカートなんか穿くわけない。とは言いが「行灯袴」は穿く。

和服は基本的に男女同じに思える。細かい違いはあるのだろうが、前合わせは男女同じ右前。欧米化で取り入れた洋服は、男は右前、女は左前。着るものでの男女区別は欧米が始めたということになる。いつごろから始めたのだろうか。

俺は男だ、だからズボン、と言う時の、俺は男、という意識はいつのころに芽生えたのだろうか。

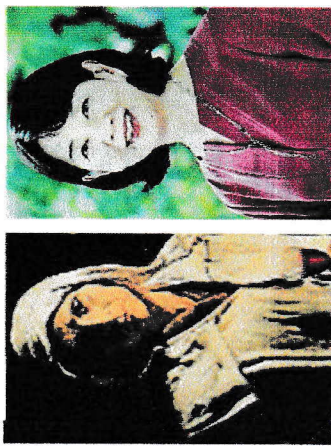
タさんからいただいた資料の中に、そういう「性自認」は2歳頃までに形成されて、その後は変化しない、という研究があるとの文章を見つけた。〈マネーとタッカーの研究。上野千鶴子著「性の政治学」；岩波講座 11「ジェンダーの社会

学」所収)

大変若い、まるで記憶のない頃にまわりから植えつけられたことになる。とすると両親からということだろう。その両親はそういう意識をそのまだ両親からということだろう。どんどんさかのぼるとホモサピエンス発祥にまでゆきつきそう。これは根深い。

哺乳類は、メスが体内で子孫を育み、オスメス協力の下で次世代をより確実に残す方法で繁栄し生き延びた。メスは巢の中で子を守り育てる。オスは近づく外敵を退け、餌を求めてかけめぐった。なんて、わりと確かな妄想だと思っただけな。

だとすると、男は外で金稼ぎ、女は家で子を育て食事を用意する、という悪い込みは、これは根深い。ちよつとやそつとでは修正できそうもない。なんて、今はあんまり外で言えない時代



左・「龍民の家族」(部分) ル・ナン兄弟  
右・吉永小百合 雑誌「週刊 2021/6/20」

17世紀フランスの「美しい女性」は左前と右前と両方等である。この後の時代にはすでに両方存在したということになる。上に載っているのは男のお話か？